

令和7年度第2回山形県地域医療対策協議会 概要

1 日時

書面（メール）開催（令和7年8月22日～8月27日）

2 協議結果

- ・重点医師偏在対策支援区域における支援対象医療機関の選定について

⇒ 委員全員の賛成により承認された。

（主な御意見）

重点医師偏在対策支援区域における医療を絶やさないためにも、この支援策は大切だと思う。

3 意見照会結果

- ・令和8年度専門研修プログラム等に係る意見照会について

⇒ 委員よりいただいた御意見を踏まえ、次頁のとおり山形県の意見（案）を一部修正（修正箇所：朱書き）の上、厚生労働省へ提出いたします。

以上

国から都道府県への協議に関する意見

都道府県名：山形県

1. 令和8（2026）年度シーリング案に関する意見

専門医募集定員に係るシーリングについては、見直し後も、激変緩和措置により大都市部の募集定員固定化が懸念されることから、医師の偏在是正を図るため、将来の医療需要を踏まえ、各都道府県・各診療科の必要な医師養成数を定めた上で、厳格に実施すること

なお、診療科の基本領域各科では、その対象となる疾患がそれぞれ広範囲に渡るため、より細やかに業務ベースで必要医師数を算定することも今後検討して頂きたい

2. その他の意見

地域枠からの離脱について、不同意と認定することで都道府県が法的な責任を負うことがないよう、同意／不同意の基準を明確に示すなど、国の積極的な関与により、実効性のある仕組みを整備すること

個別のプログラムに関する意見

都道府県名：山形県

1. プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見

~~特になし~~

常勤の指導医がいない施設には専攻医をローテーションとして派遣できないため、他の連携施設あるいは基幹病院からの非常勤医が指導医として登録できるようなシステムがあれば、医師偏在や医師少数の問題が改善される可能性があるのではないか。

2. プログラムの採用人数に関する意見

特になし

3. プログラムの廃止に関する意見（該当する場合のみ）

特になし

4. 地域枠医師等への配慮に関する意見

特になし

5. その他の意見

特になし

※ 本別紙2の内容の日本専門医機構及び関係基本領域学会への提供希望

希望する ・ 希望しない

各診療領域のプログラムに共通する意見

都道府県名：山形県

診療科領域名：全診療科

1. 複数の基幹施設設置に関する意見（内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科及び麻酔科のみ）

領域全体への志望者が多い場合には、多様なプログラムによる選択肢は有効だと思いますが、志望者全体が少ない場合には、基幹施設間でのバランス調整が難しく、専攻医の取り合いが生じる場合もあると考えられます。複数の基幹施設で専攻医を取り合うのではなく、研修施設で協力して研修を実施することが必要と考えます。

2. 診療科別の定員配置に関する意見

~~特になし~~

患者の高齢化、働き方改革、育児休暇等により、医師の必要数は変化していくため、配置する定員数については、柔軟な対応が求められるべき。

3. その他の意見

医師不足は深刻化しており、研修プログラムを支える指導医が離脱するなどしてプログラム維持が困難になれば、医師少数都道府県ほど早期に医療提供体制に支障が生じることになると考えます。

※ 本別紙3の内容の日本専門医機構及び関係基本領域学会への提供希望

希望する ・ 希望しない